

Ipragliflozin, a Sodium-Glucose Cotransporter 2 Inhibitor, Ameliorates Nonalcoholic Fatty Liver Disease in Japanese Patients with Type 2 Diabetes Mellitus

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-02-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 田島, 加奈子 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://doi.org/10.20780/00032713 |

様式 (6)

学 位 審 査

| | | | |
|---|------------|-----------|-----------|
| 学 位 番 号 | 乙 第 3056 号 | 氏 名 | 田 島 加 奈 子 |
| 審 査 委 員 会 | 主 査 教 授 | 馬 場 園 哲 也 | |
| 論文審査の要旨 (400 字以内) | | | |
| <p>本研究は、2 型糖尿病患者に合併した非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) に対するナトリウム・グルコース共役輸送体 2 (SGLT2) 阻害薬の効果を明らかにする目的で行われた、一施設における前向き臨床研究である。</p> <p>腹部エコーで NAFLD と診断された 2 型糖尿病患者 15 名 (男性 11 名, 女性 4 名, 平均年齢 47 歳) に対して, SGLT2 阻害薬であるイプラグリフロジン 50mg/日が 12 週間投与された。イプラグリフロジン開始前および 12 週後に, 糖尿病および NAFLD 関連の生化学指標に加え, 肝硬度測定装置であるファイブロスキャンを用いて測定された肝脂肪量と肝硬度が比較された。その結果, イプラグリフロジン投与後, 体重の減少, 空腹時血糖, HbA1c, γGTP およびフェリチン値の低下, さらには肝脂肪量と肝硬度の低下がみられた (いずれも $p < 0.05$)。以上の結果から, SGLT2 阻害薬は糖尿病患者における NAFLD の改善に有用であると結論された。</p> <p>本研究は, SGLT2 阻害薬の NAFLD 改善効果を詳細に検討した, 臨床的に有意義な研究と考えられる。以上より本研究の 0 学術的価値は高く, 博士 (医学) の授与に値する優れた論文と認める。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p> | | | |